

せんだい社協 ニュースレター

2025年1月6日 No.1

皆様からいただいた
ご寄附を活用した
取組みをご紹介します

発行:社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
TEL022-223-2010(代表)

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-6-10
アースブルー EARTH BLUE仙台勾当台ビル 7F

改修工事により仮事務所
に移転しています

みなさまからのご寄附を 「ともに生き、支えあうまち」づくりの後押しに

みなさまからお寄せいただいたご寄附は、地域福祉を推進する様々な取り組みに活用されています。
今回は、寄附金を財源とした助成事業「ともに支えあうまちづくり活動創出助成金（以下「ともまち助成金」）による活動をご紹介します。

【ともまち助成金の概要】

- 対象団体：地区社会福祉協議会、町内会、ボランティアグループ、
老人クラブ、NPO 団体等
- 助成金上限額：10万円 ※ 年間20団体程度に助成

助成先の情報はこちらからも
ご覧いただけます



活用事例

心も体も元気アップクラブ

太白区
富沢発

光る汗と楽しい笑い声。月2回の活動に心を弾ませ、この日も参加者が集っています。「心も体も元気アップクラブ」では、ともまち助成金を活用し、富沢地区においてフレイル予防等のプログラムに取り組んでいます。



助成金は活動に使用するダンベルやボールの費用や、月に1回、講師を招聘するための謝礼に使われています。

引越してきた人々も交流できる場を

元気アップクラブの役員は、もともと他の地域で介護予防教室に参加されていたメンバー。自分たちの住む富沢地区でも同じような介護予防教室を行いたいと思い、令和5年に同団体を立ち上げました。

富沢地区は近年開発が進み、新しい住民が増加している地域。若い世代に限らず、息子・娘世帯の近隣に移住する高齢の方も増えています。「富沢地区の元気な高齢者は、仙台市体育館やスポーツジムに行ってしまうので、あまり交流がないんです。」と代表の伊藤さんは言います。健康意識が高い高齢の方が多いことを捉え、運動を切り口に交流できる場を作ろうと考えました。

活動には、数年前に富沢地区に引越して来られた方も参加されています。「ここに来たことで、初めて地域内の同世代の方とつながることができました。」とのこと。運動だけではなく、脳トレなども行い、初めて会う人同士でも、打ち解けて一緒に取り組んでいます。「できても、できなくても笑いあって、みんなが楽しんで、心が満たされる。団体名の『心も』というのはそういう意味なんです。」

思いのこもった寄附が 活動の励みに

ともまち助成金の相談の際にCSW（※）からの情報提供をきっかけに、近隣の特別養護老人ホームの交流スペースが活用できるようになりました。「助成金がきっかけになって、活動に広がりが出ました。寄附された方の『活きたお金』をいただいたことで、活動の励みにもなっています。『応援してもらっている活動なんだ』って。」

皆様の心温まるご支援により、支え合いのまちづくりがひろがっています。

※CSW：'コミュニティソーシャルワーカー'の略称。仙台市社会福祉協議会の各区・支部事務所に配置されています。



トレーニング中も笑顔が絶えません。「ここへ来ることが楽しみ。お出掛けのきっかけになって家にこもらないでいられます。」という声も。



元気アップクラブの役員の皆さんは、参加者の皆さんの心と体がもっと元気になるように試行錯誤を繰り返しています。「皆さんからのご厚意が活動の後押しになります！」

皆様のご支援に厚くお礼申し上げます

令和5年度寄附金収入 89件 4,890,363円 ※共同募金配分助成を除く

仙台市社協は皆様からの寄附を活用し、今後も地域福祉の推進に向けた支援を行ってまいります。
ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

